### (別紙様式2)

## 令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名: 奈良県

農業委員会名: 生駒市農業委員会

# Ⅰ 農業委員会の状況(令和3年3月31日現在)

### 1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	328	30	_			358
経営耕地面積	175	12	12	_	_	187
遊休農地面積	_	_	_			39.2
農地台帳面積	555	65	_			620

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入 ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入 ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項 第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	704
自給的農家数	474
販売農家数	230
主業農家数	12
準主業農家数	40
副業的農家数	178

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	770
女性	385
40代以下	254

※ 農林業センサスに基づい て記入。

	経営数(経営)
認定農業者	6
基本構想水準到達者	_
認定新規就農者	2
農業参入法人	4
集落営農経営	_
特定農業団体	_
集落営農組織	_
<b>ツサポチ</b> ロ ヘ=m ×	

<sup>※</sup>農業委員会調べ

## 2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

		農業勢	委員
		定数	実数
農業	委員数	10	10
	認定農業者		_
	認定農業者に準ずる者		_
	女性		3
	40代以下		1
	中立委員		1

任期満了年月日 R 5 年 7 月 19 日

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	7

## Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現	状	管内の農地面	積	これまでの集積	面積	集積	率	
	3月現在)	358	ha	4.4	ha		1.2	%
課	題	遊休農地になる農地少ないため、農地の	』は山間 集積・集	部に多く、また、第三 約化には、つながり	者への	貸出しを希望すった。	<b>上</b> る農業	き者も

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で 定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

#### 2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
5.4 ha	4.9 ha	0.5 ha	90.7 %

- ※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入
- ※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
- ※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、 担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

#### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	新規参入者と農地とのマッチングを積極的に行う。
活動実績	農業人フェア(梅田ハービスホール・令和3年11月13日)、なら就農相談フェア(奈良県文化会館・令和3年12月5日)においてブースを出展(2日)し、新規参入者を積極的に確保して活動を行うとともに、遊休農地の集積に関する分析を行い(2日)、新規農業者や認定農業者への農地紹介(マッチング)を積極的に行った(5日)。

- ※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入
- 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地の集積化に向けて、農業に関するマッチングフェアなどに参加したり、さまざまな情報発信をしていく必要がある。
活動に対する評価	令和3年度は、農業人フェア(梅田ハービスホール・令和3年11月13日)、なら就農相談フェア(奈良県文化会館・令和3年12月5日)においてブースを出展し、約30名の就農希望者が集まった。ただしすべてスキルがない方ばかりであり今後スキルを磨き、生駒に就農するよう働きかけた。通常このような催しの直後には農地見学会を設けるが、コロナ禍のため実施しなかったところである。 一方、スキルを持たない新規就農の動きも目立っており、受け入れの仕組みの点検、整備を進めているところであるが、本当に意欲のある新規就農者の動きを阻害しないよう注意したい。

## Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

		H30年度新規参入者数	R1年度新規参入者数	R2年度新規参入者数
		1 経営体	3 経営体	5 経営体
新規参入の状	<b></b>	H30年度新規参入者 が取得した農地面積	R1年度新規参入者 が取得した農地面積	R2年度新規参入者 が取得した農地面積
		0.4 ha	0.7 ha	1.2 ha
課是	頁		・共に増加傾向にあるにも関 ノグを促進するための仕組み	わらず、マッチングによる合 xが求められる。

<sup>※1</sup> 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

### 2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
2 経営体	1 経営体	50.0 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
1 ha	0.2 ha	20.0 %

- ※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入
- ※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入
- ※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

## 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	大阪市内で開催される「マイナビ農業」などにおいてブースを確保して、新規参入者を積極的に確保していくとともに、新規参入者と農地所有者とのマッチングを積極的に行う。
活動実績	令和3年度は、農業人フェア(梅田ハービスホール・令和3年11月13日)、なら就農相談フェア(奈良県文化会館・令和3年12月5日)においてブースを出展し、約30名の就農希望者が集まった。ただしこれから農業スキルを身に着けたい方が多く、農業大学校や農業法人でのスキルアップを促し、いずれ生駒で就農するよう働きかけた。なおこの後、通常農地見学会を設けているが、コロナ禍もあり実施していない。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	遊休農地の解消には、担い手の育成・確保が必要であるので、引き続き、新規就農 を積極的に開拓していく。
活動に対する評価	引き続き、新規就農希望者と農業者のマッチングを積極的に行っていく。

<sup>※2</sup> 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

## Ⅳ 遊休農地に関する措置に関する評価

## 1 現状及び課題

現    状		管内の農地面積(A)		遊休農地面積	割合(B/A×100)			
(令和3年		395	ha	39.2	ha		9.9	%
課	題	農地の使い難さ、農家 拡がりつつある。	アの後組	**者不足及び猪等に	こよる獣	害を理由として、	、遊休農	<b></b> 地は

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における<u>耕地面積と</u> 農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号 の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により 把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)			
1.0 ha	16.4 ha	1,638.2 %			

- ※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入
- ※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

#### 3 2の目標の達成に向けた活動

<i>J</i> 2 •		207日(示07)(主)(水(に)円(17)に)日(5)									
	措置の内容	調査員数	(実数)	調査領	<b></b>		調査結果取	りまとめ即	<b>寺期</b>		
	農地の利用状況		17 人		~10月		10月~	/ •			
動	付 ⇒□→		各地区の農業 う。	委員が、計画	に基づき、	担当了	ける地区内におい	いて、月1	-2回行		
計画	農地の利用意向 調査	調査実施時期	明:12月~3月	1							
	その他の活動										
	農地の利用状況	調査員数	(実数)	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期				
	調査		17 人	7月	~10月		9月~	12月			
江		調査実施時期	12月~2月	調査結果国	文りまとめ即	寺期	1月~	~3月			
活動	農地の利用意向	第32条第1	項第1号	第32条第	第1項第2号	클	第3	3条			
動実績	調査	調査数:	1,033 筆	調査数:	36	筆	調査数:	0	筆		
績		調査面積:	37.0 ha	調査面積:	2.2	ha	調査面積:	0.0	ha		
	その他の活動		含めて意向	調査を行い	、回答がな	い方	けでなく過去よ については農 <u></u>				

### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	山、谷の区域には遊休農地とともに荒廃し、山林化している農地もあるので、非農地 判定を進めたい。
活動に対する評価	本年より記録すべきことが多くなり、調査そのものに支障を来している。

# V 違反転用への適正な対応

## 1 現状及び課題

現 状(令和3年4月現在)		管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
		358 ha	0.0 ha
課	題	農地転用、農地造成に際しては、転用農業者も多いことから、手続きについて	月手続、造成手続が必要であるとの認識がない てを農業者に周知していく必要がある。

- ※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入 ※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して 転用されている農地の総面積を記入

## 2 令和3年度実績

実 績	1	増減(B-①)				
0.2	ha	0.2	ha			

- ※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入
- 3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農業委員、推進委員によるパトロールを行う。
活動実績	利用状況調査に合わせて、農地パトロールを行った。 違反案件については、適切な手続きを指導している。
活動に対する評価	違反案件については、適切な手続きを指導している。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等 詳細かつ具体的に記入

# VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 10 件、うち許可 10 件及び不許可 0 件)

点	点検項目			具体的な内容					
事実関係の確認		実施状況	書類審査及び写	書類審査及び現地調査により、確認を行っている。					
		是正措置			-				
総会等での審議		実施状況	毎月行う定例会	毎月行う定例会にて、審議を行っている。					
		是正措置		-					
			申請者へ総会等明した件数	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数 0 何					件
申請者への審認の通知	議結果	実施状況	不許可処分の理由の詳細を説明した件数					0	件
		是正措置	_						
李詳	小小主	実施状況	生駒市ホームページにて、公開を行っている。						
審議結果等の公表		是正措置	-						
	実	施状況	標準処理期間	申請書受理から	21 ⊨	処理期	間(平均)	15	日
処理期間	是正措置		-						

2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 9 件)

点検項目				具体的な内容				
事実関係の確認		実施状況	書類審査及び現	· 類審査及び現地調査により、確認を行っている。				
事夫関係()	作形	是正措置		-				
実施状況		毎月行う定例会は	毎月行う定例会にて、審議を行っている。					
松云寺(の)	総会等での審議 是正措置			-				
李漾 <b>红</b> 甲华 <i>0</i>	実施状況		生駒市ホームページにて、公開を行っている。					
金融和木守 <sup>0</sup>	審議結果等の公表 是正措置			-				
		施状況	標準処理期間	申請書受理から	28 ∄	処理期間(平均)	21	日
処理期間	是正措置							

## 3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目			実施状況						
	管	内	の農地所有適格法人数		0	法人			
		うせ	5報告書提出農地所有適	格法人数	0	法人			
		うせ	る報告書の督促を行った	<b> </b>	0	法人			
			うち督促後に報告書を提	出した農地所有適格法人数	0	法人			
農地所有適格法人からの報告に ついて			うち報告書を提出しなかっ	0	法人				
			提出しなかった理由 -						
			対応方針	_					
農地所有適格法人の状況につい		が		くおそれがあるため農業委員 を勧告した農地所有適格法人	0	法人			
7			対応状況 -						

## 4 情報の提供等

点検項目		具体的な内容
	実施状況	調査対象賃貸借件数 0 件 公表時期 令和4年4月(予定)
賃借料情報の調査・ 提供		情報の提供方法: 奈良県農業会議ホームページにより公表している。
	是正措置	-
	実施状況	調査対象権利移動等件数 53 件 取りまとめ時期 令和4年4月(予定)
農地の権利移動等の 状況把握		情報の提供方法: 総会議事録を公表している。
	是正措置	-
	実施状況	整備対象農地面積 620 ha
農地台帳の整備		データ更新: 随時
長地口帳の発開		公表: 全国農地ナビ(農地情報公開システム)で公表している。
	是正措置	-

# ※その他の事務

上記IIからVIに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

# Ⅲ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

		〈要望·意見〉 なし	
	農地利用最適化等に関する事務	〈対処内容〉	
		〈要望·意見〉	
		なし	
	農地法等によりその権限に属され た事務	〈対処内容〉	
	<ul><li>※ II ~ VIの事務について、活動を</li></ul>		
Ⅷ 事務の実施状況の公表等			
1	総会等の議事録の公表		
	HPに公表している	その他の方法で公表している	
2	農地等利用最適化推進施策の	改善についての意見の提出	
	意見の提出件数	件	
	提出先及び提出した		
	意見の概要		
3	活動計画の点検・評価の公表		
	HPに公表している	その他の方法で公表している	